

おしのがき

No.44

平成27年11月11日

発行：徳島県吉野川市議会



第75回 鴨島大菊人形展



目次

議案の審議から

2

代表質問

5

一般質問

8

議会改革検討

14

協議会設置

市民のページ

15

クイズ

15

あとがき

16

審議から

9月議会では、条例案2件、予算案6件、決算認定案10件、その他2件が提案され、審議されました。

決算特別委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定について

質問

税の徴収率の推移は。また、平成26年徴収率が上がった理由は。

税務課長

平成24年度92・0%から26年度92・7%と合併以来の高い率となっている。納税相談を実施し、分納など支払方法を協議し、理解を得られたことや、悪質滞納者に対しては、資産調査を実施し、担保力が認められる者には差し押えなどの換金処分を実施したことが理由である。

質問

国民健康保険における1人あたりの医療費が高くなっているが、原因は高齢化によるものなのか。

国保年金課長

65歳以上の被保険者が3分の1以上を占めており、0～64歳までの医療費と65～74歳の医療費は、ほぼ同じである。65～74歳の医療費によって左右される。

質問

国民健康保険税における不能欠損額が減少しているが、特別な対策を行ったのか。

国保年金課長

滞納については税務課と情報を共有し、担保力があるのに滞納し、催告、督促を行っても何も連絡がない者については、強い姿勢で差し押えを執行した。

◇以上異議なしで認定

総務常任委員会

▼吉野川市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について

質問

第9条の2において、個人情報について目的外の利用を禁止しているが、但し書きの中で利用可能と解する文言が明記されている。この意味は。

企画財政課長

個人情報基本的には目的外の利用はできないが、個人の生命、財産、安全を守るため必要がある時、(本人の同意がある場合、また、事故、災害時、認知症などで、本人の同意を得ることが困難な場合) 実施機関は内部において利用することができる。

ただし、特定個人情報や本人または、第三者の権利利益を不当に侵害する恐れがあると認められるときは、利用できないと規定されている。

▼吉野川市手数料条例の一部を改正する条例制定について

質問

マイナンバー制度による通知カードの再交付は、市役所窓口ですぐにできるのか。

市民課長

再交付は、窓口での受け付け完了後、業務を委託している地方公共団体情報システム機構へ送付し作成するため、すぐにはできない。

◇以上異議なしで可と決定

平成27年9月議会 定例会

会期：平成27年8月31日～9月18日

議案の

文教厚生常任委員会

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

放課後児童健全育成事業費補助金の中で、新規に基準ができたという説明があったが、どのような基準なのか。

子育て支援課長

本年4月から子ども子育て支援事業新制度が開始されるなか、放課後児童クラブの子ども達への保育・指導員などへの処遇の改善により、各単価が引き上げられた。

質問

川田・美郷統合小学校こども園の購入予定地は農地なのか。購入後すぐに砂利を敷いて、進入路として動線を確保すれば、工事をしていても保育所の保護者が送迎の際に利用できるのではないか。

子育て支援課長

現在のままで着工すると、川田中小学校の玄関部分が工事車両の進入路になり、危険な状況となる。

それを避けるため新たに土地を購入して早期に農地転用を行い、工事車両の進入路とすることで、工事中の児童生徒の安全確保を図る。また、保育所送迎のための人や車両が安全に通行できるように手立てを行いたい。

◇以上異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

向麻山公園が急激に変異している原因は。

商工観光課長

向麻山周辺は急傾斜地となっている。今回の調査により原因が明らかになると考えている。

質問

知恵島中須賀・中郷線の道路改良工事について、ゴミの集積所を他に移せば、この工事は必要なかったのではないか。

建設部次長

交差点改良事業として実施する計画であり、施工箇所にゴミの集積所があるため、担当部局に移設をお願いした。

◇以上異議なしで可と決定



代表・一般

ここが聞きたい

質問

9月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 細井英輔

- 市長の所信表明より
- 学校再編計画について
- D V相談体制について
- LGBTの課題に対する取り組みについて
- 防災対策について

② 田村修司

- 市長の所信表明より

●吉野川市社会福祉協議会に対する補助金について

○選挙権年齢の引き下げに伴う対応について

③ 福岡正

○川田・美郷地区における学校再編について

●下水道事業の今後の展開について

○選挙制度の改正について

○市道の管理状況について

一般質問

④ 岸田益雄

○資源化ごみモデル集積所の管理について

●吉野川医療センター周辺の交通事情について

○世界農業遺産登録について

⑤ 塩田智子

○子どものインフルエンザ予防接種助成制度の構築について

●不妊治療に対する助成制度について

⑥ 岸田秀樹

●市道の維持管理について

○都市計画道路(街路)の見直しについて

⑦ 工藤俊夫

●ピロリ菌対策について

○飯尾川等の河川改修について

○準用河川の改修について

⑧ 川村辰夫

○農振法に基づく農用地の指定について

●生活困窮者の支援について

○地方創生について

⑨ 増富義明

●消防行政の取り組みについて

○ごみ処理計画について

○し尿処理計画について

○火葬事業について

⑩ 高木純

○豪雨対策について

●第3次吉野川市行政改革について

○犯罪から子どもを守るために

⑪ 岡田光男

○安保健策について

●「非核・平和宣言都市吉野川」の懸垂幕について

○スポーツ施設充実について

○介護認定について

○地方版総合戦略について

⑫ 阿佐勝彦

○雨水排水路の整備について

○市道の通行を妨げる倒木対策について

●職員の接遇について

○給食の無料化について

平成27年9月
議会定例会

代表質問



ほそ
井 英 輔
(薫風会)

吉野川市版総合戦略の
取り組みは

(質問)

新しい人の流れをつくる吉野川
市版総合戦略を作り上げたい

(答弁)

◎質問

本市においても、少子化の進行と若年人口の都市部への流出に加え、地場産業の弱体化、後継者不足など極めて厳しい状況に直面している。総合計画や都市計画マスタープランの総合的課題として人口問題を掲げているが、市の発展にとって人口問題は重要な課題である。

今回、まち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略を策定することとは、人口減少問題の

克服、地域経済活性化に向けた好機であり、予算確保だけの計画ではならないと考える。改定版総合戦略の策定にあたり、どのような姿勢で取り組むのか。

○香川政策監

持続性のある地域経済の振興による安定した雇用の創出や、生活環境の向上、観光振興や移住促進などにより、本市に新しい人の流れをつくるなど総合的に取り組まなければ

ならないと考える。

将来の人口動態改善のため、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現し、合計特殊出生率の向上を図ることが必要である。

将来を展望した戦略性のある5か年計画として、吉野川市版総合戦略を作り上げたい。

【その他の質問】

◎質問

売れ残ったプレミア商品券の取り扱い。

○産業経済部長

前回と同様、市に住民登録のある個人を対象に再度販売する。

◎質問

鴨島東部地区の中学校1校、小学校3校の再編計画進行状況は。

○教育次長

校区ごとに、就学前の保護者に対する説明会を開催する予定。

◎質問

DVに対する相談体制は。

○健康福祉部長

「子育て支援課・子ども相談室」が相談を受け、「警察」「中央子ども女性センター」などと連携し対応している。

◎質問

※LGBTについて、今後どのように進めていくのか。

○市民部長

窓口開設の設置も視野に入れ、検討していきたい。

◎質問

災害用備蓄品は小学校に、土のうは消防団の詰め所に保管できないのか。

○防災局長

地理的要件を勘案し、備蓄品および土のうの配備先の拡大を検討する。



総合戦略についての会議

※LGBTとは、女性同性愛者(レズビアン、Lesbian)、男性同性愛者(ゲイ、Gay)、両性愛者(バイセクシュアル、Bisexual)、そして性同一性障害(トランスジェンダー、Transgender)を含む性別越境者などの人々を意味する頭字語である。

代表質問



田村 修司
(志誠会)

市社会福祉協議会の赤字事業を
どうするのか

(質問)

28年度末までに今後のあり方に
ついて検討する

(答弁)

◎質問

吉野川市社会福祉協議会が、本市の指定管理者として美郷老人福祉センターで実施している介護保険事業の運営状況を調べた。

平成27年度一般会計収支予算収入1億9500万円のうち90000万円が本市からの補助金となっている。介護保険事業における収入は4000万円余りで、介護事業支出額は5700万円余りに上っており、1700万円の赤

字となっている。このことをどう捉えているのか。また、赤字の介護保険事業については指定管理者の選定を見直すことにより、補助金を減額できると思うが、本市としての見解は。

○三木健康福祉部次長

介護事業の赤字額は人件費などを明確に分けることができないため正確には分からないが、赤字部分の一部に、本市からの補助金が充たされていることは認

識している。

補助金の減額については、指定管理期間が28年度末までとなっているため、現在のサービス供給体制や今後のあり方について、市社協と協議しながら検討する。

◎再問

本市は介護保険地域支援事業を平成28年度から始めることとなっているが、報酬単価の減額により市社協の赤字幅が拡大することが分かっているにもかかわらず、なぜ早く始めることになったのか。

○三木健康福祉部次長

市社協の介護事業運営に影響することは認識しているが、事業運営に対する健全性確保などの観点から1年早く移行するように決定した。

【その他の質問】

◎質問

吉野川市人口ビジョンにおける予測と目標の根拠は。

◎政策監

理想の子どもの数2.3人を合計特殊出生率として推計し、2060年の人口3万人確保を目標とした。

◎質問

「吉野川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」はどのような視点で進めていくのか。

◎政策監

仕事づくり、企業誘致の支援、観光力の強化などに力を入れていく。

◎質問

マイナンバー制度による個人番号カードの交付準備状況は。

○市民部長

通知カード送付先情報作成を残すだけとなっている。

◎質問

選挙権年齢の引き下げによる準備・啓発は。

○市民部長

主権者教育を徹底する。



美郷老人福祉センター

平成27年9月 議会定例会



福 岡 正
（由美会・清風会）

公共下水道事業の今後の方針は

（質問）

10年程度の建設投資により
施設整備の完了をめざす

（答弁）

◎質問

「汚水適正処理構想」を年度内に策定することだが、公共下水道事業を今後どのような方針で展開していくのか。また、下水道事業のこれまでの基本方針に変更はあるのか。

○麻植水道部長

10年程度の建設投資の完了をめざし、施設整備を進める。社会情勢や時代の要請に応じたインフラ事業として、適切に安定した事

◎再問

費用対効果の観点から、家屋や事業所の集積度を十分に勘案し、下水道による汚水の処理区域は、できるだけコンパクトに収め、事業の根本的な合理化、効率化を図るべきだと考えるが。

○麻植水道部長

人口密度や施設の集積度など土地利用状況や経済見直しなどを十分に勘案し、諸条件を総合的に判断し、事業効果が見込めるよう合理的な施設整備に努める。

◎再々問

集合処理で汚水を処理できない区域は、合併浄化槽で個別処理することになるが、浄化槽を適切に維持管理する上で汚泥が発生する。この汚泥を既存の下水道施設の処理余裕能力を活用して、適正・適切な処理ができないのか。

この汚泥処理が可能となれば、阿北環境整備組合の負担金が大幅に削減できると思われるが、事業連携による既存施設の共同利用実現の可能性について、見解と方策は。

○麻植水道部長

既存の市内下水道処理施設で処理するために要求される余裕能力の調査・研究において、浄化槽汚泥などの受け入れは、物理的・技術的なハード面では可能であるが、ソフト面において、さらに検討しなければならない。引き続き、関係部局との連携・協議を密にし、研究を進める。

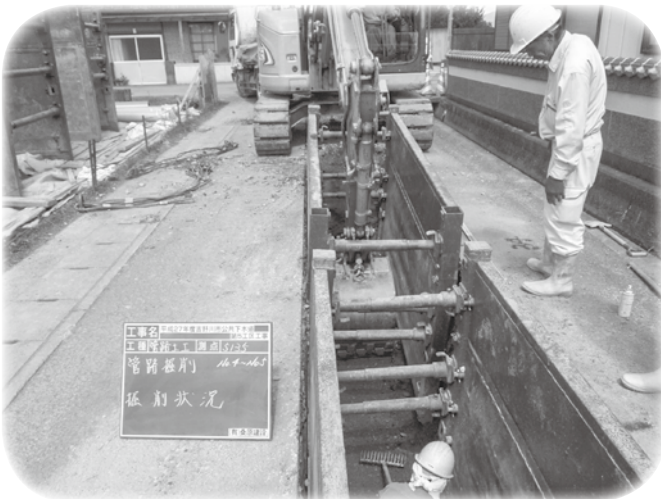
【その他の質問】

◎質問

川田・美郷地区の学校再編で空き校舎となる小学校の活用は。

○教育次長

今後、学校再編準備委員会の「地域部会」で検討していく。



公共下水道工事

平成27年9月議会定例会

一般質問



岸田益雄

吉野川医療センター周辺の
通学路の安全確保は

(質問)

車両の加速抑制を図る
対策に努める

(答弁)

◎質問
吉野川医療センターが開院したが、周辺道路は西麻植・知恵島・鴨島各小学校と鴨島第一中学校の通学路となっている。交通安全の確保は。

○寒川教育次長
各学校では、教員および保護者やスクールガードなどが、子ども

入路への信号機設置は。

○阿部建設部次長
交差点部への信号機設置の要望書を作成し、県へ提出する。

【その他の質問】

◎質問
資源化ごみモデル集積所の管理状況は。

○環境局長
10月1日からごみの持ち込みを6品目に限定し回収する。

◎質問
世界農業遺産認定への参画は。

○産業経済部次長
各協議会や近隣市町村の状況を勘案して検討する。



塩田智子

不妊治療助成制度を
導入する考えは

(質問)

実情の把握や対策について
検討したい

(答弁)

◎質問
現在、国が行っている不妊治療への助成金は、1回につき15万円が支給される。また、回数には上限があり、40歳未満で通算6回(40歳〜43歳未満で通算3回)までとされ、最大で総額45万〜90万円の補助を受けることができる。しかし、出産に至る

○増富健康福祉部長
不妊治療に必要な経費は、医療保険の対象でないため体外受精・顕微授精といった内容にもよるが、たいへん高額で1回あたり平均20万〜55万円が必要で、治療回数によっては相当な金額となる。県が特定不妊治療費の一部を助成する制度「徳島県こうのとり

◎再問
「徳島県こうのとり応援事業」における本市在住者の利用状況は。
また、「ひと・まち・しごと創生法」に基づく計画に組み込まないのか。

○増富健康福祉部長
平成25年度は22件で26年度は29件。助成額は約300万円前後。今後総合戦略の策定を進める中で検討する。

【その他の質問】

◎質問
子どものインフルエンザ予防接種の助成を行う考えは。

○健康福祉部長
関係部局と十分に協議・検討する。

◎質問
市道における路面下の空洞化について、
①路面下の空洞化の確認方法は、
②仮に空洞化サンプル調査を行い、その時

点で空洞化が見つかった場合その対応は。
③空洞化調査の費用について、どのように認識しているのか。
④市民の安全・安心の観点から空洞化調査

国の交付金制度の活用とあわせて検討したい

(答弁)

安全・安心の観点から道路の空洞化調査をしてはどうか

(質問)



岸 田 秀 樹

○阿部建設部次長

①道路実態調査は、補修班による巡視や市民の方からの通報により、道路の陥没、路面異常を確認している。
②調査で空洞化が判明した場合、路面陥没の危険度を判断し、緊急を要する箇所は速やかに対処する。その他については、注意深く経過観察し対処する。
③空洞化調査に要する費用は、1kmあたり11万~12万円程度。
④現段階で空洞化調査を実施する予定はない。陥没の発生頻度および発生状況により引

を行っては。

◎再問

空洞化が分かった所を修繕することは当然のことであり、費用面も考慮しつつ、重要路線を選択して調査を行うべきではないか。
○阿部建設部次長
空洞化調査の有効性を判断した上で、緊急輸送道路・重要路線などにおいて実施できないか、国の交付金制度の活用も合わせて検討したい。

◎質問

一部工事を終えた「知恵島中島線」を既存の幹線道路まで拡幅・改良しては。

【その他の質問】

○建設部長

効果的・効率的に道路交通ネットワークが機能するように、既存道路を最大限活用できるように検討する。



陥没穴補修工事

◎再問
通学路の安全を確保するために、交通安全

の安全を見守っている。今後も学校、保護者、地域、警察などと一緒に連携し、通学路の安全確保に努める。

◎再々問
板野川島線の病院進

ゾーン標識などの道路標識や、信号機などの設置・改善を含めて、可能な限り車両の通行速度抑制を図るための対策に努める。



学校周辺ののぼり旗

確率は3.7%と大変低く、それまでにかかる多額の費用や、肉体的・精神的苦痛から諦めてしまいう方も多い。県や近隣市町村では、費用の一部助成が実施されている。本市の対策は。

応援事業」を実施しているが、本市独自の制度としては、実施していない。不妊治療に関する問い合わせや相談があった場合、保健師が相談を受けるとともに、県の助成制度を紹介し、推奨している。



不妊治療のパンフレット

平成27年9月議会定例会

一般質問



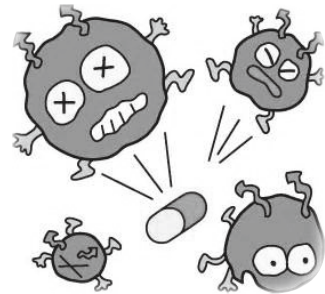
工藤 俊夫

胃がん撲滅のため中学生にピロリ菌対策を実施しては

(質問)

関係部局と協議し、検討する

(答弁)



してもらったための広報や啓発について、教育委員会としてどのようなことができるのか検討していきたい。

◎質問

ピロリ菌検査には、
①安くて、ほぼ確実な胃がんの予防ができる。
②潰瘍・マルトリンパ腫・鉄分欠乏や貧血の予防になる。
③自分の子どもに感染させるリスクがなくなる。
④医療費の大幅な軽減に繋がる。

◎増富健康福祉部長

ピロリ菌検査は、尿検査のため費用が安価で、中学生を対象にする回収率が高いことから、対象者に適している。検査費用が一人あたり700円として、初年度約60万円程度、次年度からは20万円が継続的な歳出の見込みとなる。

◎再問

他県で中学校の生徒に対してピロリ菌検査と除菌治療を実施しているところもある。教育委員会の考えは。

◎石川教育長

中学生に対する実施には、自分の身体や健康について正しく理解し、保護者とともに無



川村 辰夫

生活困窮者支援事業の実施状況は

(質問)

2つの必須事業と4つの任意事業を実施

(答弁)

◎質問

生活困窮者の支援は、平成27年4月1日に施行された新法。生活困窮者自立支援に基づき「自立相談支援」および「住居確保給付金の支給」の2つの必須事業と、他に4つの任意事業があるが、
①事業の実施状況は。
②支援事業の相談お

が、任意事業である「就労準備支援」、「一時生活支援」、「家計相談支援」、「学習支援」も含め6つの事業を実施している。

②助言、情報提供などが25件、連携する機関に取り次ぎなどが17件。
③2名配置し、法律や施策、他法の活用ができる人材養成を図つ

◎三木健康福祉部次長
広報や、ケーブルテレビなどで周知しており、現在、パンフレットを作成中。

◎再々問
相談件数の増加などで人員増が必要となった場合は。

◎三木健康福祉部次長
支援員を増員し、補助を受けるかたちで任意事業の実施を検討する。

【その他の質問】

◎質問

農業振興地域整備計画見直しの考えは。

◎産業経済部次長
麻植開パイ地区を含め、今後検討する。

⑤家族で検査すれば、早期発見にも繋がる。という5つの効果がある。
そこで、中学生にピロリ菌検査や除菌対策を導入しては。
また、28年度から助成を行えないのか。

実施については、市医師会・学校関係者、関係部局と十分検討していく。
○寒川教育次長
中学生の保護者に、ピロリ菌検査や除菌治療について正しく理解

事に除菌まで終えることが重要と考える。他県先進事例などを参考に広報や啓発を進めたい。

よび支援状況は。
③支援員の配置および研修養成の状況は。
④任意事業などを実施する考えは。
○三木健康福祉部次長
①2つの必須事業と補助は受けていない

ている。
④現体制で対応できており、補助を受けての任意事業は考えていない。
○再問
事業についての周知はできているのか。

○質問
有識者会議での総合戦略策定の進捗状況は。
○政策監
12月議会には総合戦略素案を提示する予定。
いて検討していきたい。



増富 義明

西消防署の改築は
現施設周辺で

(質問)

現庁舎周辺での建設を
強く訴えていく

(答弁)

◎質問
中央広域連合西消防署が完成したのは昭和46年で、すでに44年が経過し、建物の老朽化により屋上や外壁に亀裂が入り、破損や雨漏

りなどの不具合が発生している。また、南海トラフ巨大地震などの大災害が起こった場合、災害拠点施設として機能しないばかりか、勤務中の署員の生

死にも関わる状況と考える。早急な改築が必要だと考えるが、阿波市では現在の場所から1.7kmも離れている旧阿波市庁舎への移転を要望しているようだが、断じて認める訳にはいかない。
火災や救急事案では1分1秒の遅れが致命的となる。現在地でも美郷地区や学地区は時間がかかっており、1.7km移動する事により、さらに時間が必要となり、市民の生命や安全・財産を守ることができない。
現在、3か所の消防署の位置では、人口や

世帯数が、ほぼ均等であり、スムーズな消防行政を遂行している。美郷地区・学地区・山川地区の住民にとって、阿波市への移転は安心・安全を脅かす重大問題である。
是が非でも、現在の西消防署周辺で、建設を進めるよう要望するべきと考えるが。
○武田防災局長
現在、本市が幹事会に提案している建設候補地は、現庁舎から250mで、阿波市への影響も非常に少ないと考えている。今後、さまざまデータに基づき調査し、現庁舎周

◎質問
同じ市民でありながら、火葬場利用料金が異なる不公平な状況になっているが、阿北火葬場管理組合の組織体制の見直しを行い、料金を統一すべきではないか。
○環境局長
今後、本市にとって最適な事業運営ができるよう、管理組合において、各施設のあり方、市内料金の統一化につ



西消防署

平成27年9月議会定例会

一般質問



高木 純たかぎ じゅん

第三次行政改革は
誰のための改革なのか

(質問)

適宜、見直しを行う

(答弁)

○防災局長

より詳細な地域などの情報提供が可能となるよう、市内ケーブルテレビ会社2社と協定を結び、字幕放送(テロップ)を通して、発令区域をより絞り込み、土砂災害警戒区域や危険箇所などを含んだ自治会単位名を放送することとしており、9月中旬には正式に協定を締結する予定。



岡田 光男おかた みつお

非核・平和宣言都市の懸垂幕が
1つ減らされているが

(質問)

新たに「標柱」などを
検討したい

(答弁)

○市長

国の将来を左右する大変重要な問題であり、国会で十分な議論が尽くされることを期待している。

○質問

介護認定の更新で介護度が大きく変わる場合の対策は。

○健康福祉部長

調査員より再度聞き取り調査を行い、問題があれば個別に指導する。

○質問

第三次行政改革は、税金や公共料金の収納率を上げることや、使用料・手数料の見直し(要するに値上げ)を行い、歳出の削減では、「団体補助金の削減」「特別会計への繰出金の縮小」などで、いずれも目標額が決められていて、市民の負担が大きくなる。

りて作り直すべきだ。

○川真田市長

今後、市民を代表する方々で組織する吉野川市行政改革懇話会進捗状況を報告し、説明を行いながら、適宜見直しを行いたい。

【その他の質問】



市内ケーブルテレビ2社と協定

○質問

懸垂幕「非核・平和宣言都市吉野川市」が1つに減らされているのはなぜか。議会での合意に基づき元の2面に戻すべきでないか。

○再問

「非核・平和」は市にとって重要な施策だということだが、新たに「非核・平和宣言」を発信する標識や標柱を設置してはどうか。

○質問

地方版総合戦略の具現化はどのようにするのか。

○政策監

議会や市民からの意見をいただき、11月までに素案を取りまとめたい。

○藤野井総務部次長
付け替えた懸垂幕「世代を越えて夢紡ぐまち吉野川」についても市の総合計画基本構

○藤野井総務部次長
どのような方法で周知・啓発していくこと

ところが、職員に負担になる経費の削減については目標額がない。改革の基本理念は「持続可能な行財政基盤の確立をめざして」だが、これでは「市役所という職場を持続可能にする改革」に見える。改めて改革の素案作りから民間の知恵をか

◎質問
台風時などでの避難勧告が「山すそにお住まいの方に対し避難勧告を発令しました」と放送しているが、「山すそ」ではピンとこないのわかりづらい。地域名などを入れることを考えてはどうか。



※平成27年9月11日に、「災害時における緊急放送に関する協定」を結びました。

想に採用され、議会から承認されたものである。懸垂幕は、設置するスペースに限りがあり調整しながら活用せざるを得ない。また「非核・平和」は自治体にとって重要な施策と認識しており、さまざまな方法で啓発

が有効かつ効果的なのか、「標柱」を含め検討したい。

◎質問
「安保法案」についてどのように受け止めているのか。

◎質問
鴨島第一中学校グラウンド排水工事の状況と、総合運動公園の整備は。

◎教育次長
排水できるよう早急に対応したい。総合運動公園は財政的に厳しい。



阿 佐 彦
あ さ ひこ

職員の接遇マナー向上にむけての取り組みは (質問)

接遇マニュアル「おもてなしの心」を実践している (答弁)

◎香川政策監

本市を含め自治体では、県の自治研修センターでの接遇研修、職場に講師を招いた研修、民間企業での研修などが行われている。

本市では平成20年に市民の方を笑顔でお迎えし、接することが出来る接遇マニュアル「おもてなしの心」を作成して、より高い接遇レベルをめざしている。

ているのか。

◎香川政策監

マニュアル「おもてなしの心」は、四国遍路でのお遍路さんを迎える「おもてなし」から名前をつけた。5つの対応を柱とし、ポイントを分かりやすく示したものであり、作成時に、全職員に周知し、現在は新規採用職員に配布して研修に活用している。

【その他の質問】

◎質問

川島町と山川町付近

の排水路の新設はできないのか。

◎建設部長

過去に地元の賛同が得られず事業の実施に至っていない。

◎質問

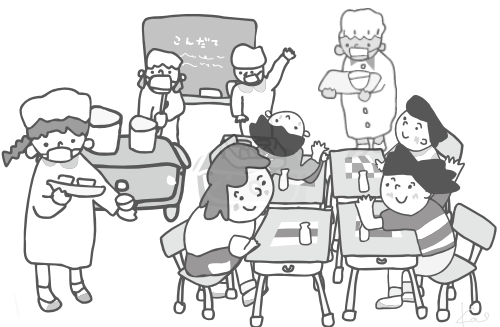
市道への倒木対策は。

◎建設部長

パトロールの強化や市民からの情報により対処している。

◎質問

給食費の一部無料化をする考えは。



◎質問
職員の研修について、徳島県での職員研修の内容と、本市以外の自治体における先進

的な取り組みは。また、本市での接遇のレベルアップにむけての取り組みは。

◎再問

「おもてなしの心」のマニュアルの内容は。また、現在も活用され

吉野川市議会改革 検討協議会が設置されました

6月11日の「議員全員協議会」において、議会基本条例などを実施している先進地視察に行った議員から「吉野川市でも議会改革について検討してはどうか」との提案があり、全員一致で「議会改革検討協議会」の設置を決定し、毎月1回程度開催されることになりました。

第1回議会改革検討協議会(7月24日)

全議員が議会改革を検討すべきとのことであった。しかし、協議会議会の運営方針、検討すべき具体的な内容など、さまざまな意見が出された。

以下、各議員の主な意見

○少しでも早く議会改革を進めるのなら、全議員で話し合い、納得できるような進め方をしてほしい。

○先進地の状況をそのまま本市にあてはめず、本市の実情に合わせて、全議員がどのような方向をめざすのかを確認する必要がある。

○本市議会運営のどこに問題があるのか、どの部分に改革が必要なのか。

○議会基本条例を策定するには相当の時間が必要で、本市の実情に合ったものでなければならぬ。

○議会基本条例は、本来やらなければならないことを明記しているだけであり、策定を進めるのなら問題を絞ってはどうか。

○議会改革は、新しいルールを構築するものであり、守ることが前提である。議員自らこれまでのルールを守ったうえで、ルール作りを始めるべきだ。

○全議員の協力が不可欠なので、ゼロベースから始めたらどうか。

○何人かの代表者を決め課題を検討の上、たたき台をつくり議論すれば。

○議会改革は、できる範囲で進めていけば良い。

○議会基本条例を制定しなくてはならない理由がよく分からない。

などの意見がありました。

第2回議会改革検討協議会(8月21日)

議員から、議会改革特別委員会設置の提案があり、9月定例会に提案することになりました。

※9月定例会において、議会改革特別委員会の設置については、議会運営委員会に付託されることとなり、継続審査となりました。

各議員から、さまざまな意見が出ましたが、今後も検討を重ね「市民に開かれた議会」をめざします。



会議録をご覧ください

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を、吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。



吉野川市議会会議録

検索

本会議・委員会を傍聴しませんか

皆さんが選んだ議員の活動や、行政がどのようなことを行っているかを知っていただくために、議会の本会議などの傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。



TEL (0883) 22-2241

市民のページ

幸せな暮らしを永遠に

山川町 大西 重夫

そびえ立つ山、その麓を流れる清流吉野川。山々から吹き下ろす風が、心地よく漂う吉野川市。この暮らしが永遠に、そして幸せであることを「ただ、ただ」祈るばかりです。

吉野川市は平成十六年に誕生、その後、飛躍をとげ、町の発展と共に魅力は向上、市民に潤いある自治体となった。

市政の発展と共に直面してきた少子高齢化の課題。日本全国、今や、「まったく中」私達の暮らしに欠かせない社会保障制度の充実、「国の予算で約四十兆円、医療・年金・介護・子育て・雇用」等、高齢化に伴う支出増加で毎年一兆円超、増え続けている現状。国の懐が寂しい財政とはいえ、老後の安心・安全の意味から避けて通ることが出来ない不可欠なものである。

戦後のベビーブーム「一九四七～一九四九年」に生まれた団塊世代は現在六十歳半ば過ぎ、並びに私た

ちの生活に密着した一九五五年頃から約二十年間続いた高度経済成長を支え、貢献された方々等に対する社会保障は、これからも際限なく続くことを見据えた対策を講じなければなりません。

厚生年金制度が発足したのは昭和十七年、共済年金は大正十二年に国の制度として作られ、現在、国民に親しまれ幅広く行き渡り、成就の過程をたどっている。先の大戦前後は三世代家族が多くその上、食糧難であり、当時は年金受給者も少なく、世帯の収入は限られ、乏しい生活となり、親達は大変苦勞し家計を成し遂げていた。決して順風満帆な生活が出来た時代ではなかった。

現在は、生活必需品は輸入品も多く出回り、便利な世の中になったのは有難い。前途は後生に委ねることになるが、人口減少が続く限り国、県、市に対し国民の命を守る健全な財政を望むしかない。



■貝の名前です。

漢字をカタカナに直してください。

- | | |
|------|-------|
| ① 牡蠣 | ⑤ 蛤 |
| ② 栄螺 | ⑥ 帆立貝 |
| ③ 田螺 | ⑦ 蜆 |
| ④ 鮑 | ⑧ 浅蜷 |

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えて

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

◎ 締切日 平成27年12月25日(消印有効)

チョットひと言

☆孫が3歳になりました。おしゃべりも多くなり、かわいくなりました。

(鴨島町 川真田さま)

☆吉野川市プレミアム付き商品券を買いました。何を買うか思案中です。

(川島町 斎藤さま)

☆退職して自由な時間が増えたので、筋トレを始めました。(山川町 横田さま)

(前回の回答)

① コオロギ(キリギリス) ② トンボ(カゲロウ) ③ クワガタムシ

④ バッタ ⑤ ミノムシ ⑥ アゲハチョウ

⑦ カマキリ(トウロウ) ⑧ アリ

【応募総数】101通

募 集 要 項

表紙の写真 募 集



テーマ 吉野川市で撮影した
季節の風景や祭り、行事など。

規 定 モノクロおよびカラードプリント
2L判～四切・W四切組
写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締 切 平成27年12月25日(消印有効)
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。

その他 作品の返却は行いません。採用された作品の
使用およびトリミングなど加工については、
吉野川市議会広報特別委員会に帰属するこ
とをご了承ください。

応募先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883) 22-2241
FAX(0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

… 規 定 …

- 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り

平成27年12月25日(消印有効)
*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

…あて先…

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883) 22-2241
FAX(0883) 22-2242

市政についての苦言
やアイデア、趣味や人
生観など多岐に渡つ
て文章を募集します。
フアックスでも結構で
す。

近年、異常気象と言え
るような現象が多発して
います。9月には関東・
東北各地で豪雨により堤
防が決壊し、甚大な浸水
被害を引き起こしまし
た。御嶽山、阿蘇山をは
じめ、火山の噴火も相次
いでいます。徳島県にお
いても、昨年に続きこの
夏も台風による大きな被
害に見舞われました。
今、「これまで経験し
たことのないような災害」
への備えの必要性が叫ば
れています。南海トラフ
巨大地震もしかり、行政
と住民が一体となった地
域ぐるみの防災体制の構
築が急がれます。
同時に、私たちは地
方創生という大きな課題
にも向き合っています。
若い世代が自らの希望に
そって地方で生きる道を
選びとれるように、安心
して結婚、出産、子育て
ができるように「雇用の
確保」「子育て環境の充実」
「ターーン・Uターーンの推
進・支援」などに効果的

あとがき

に取り組むことで人口減
少を克服し、本市の元気
な明日をつくっていきたく
いものです。「消滅自治
体」などと言わせないた
めにも、市民と行政、そ
して議会が、がっちりス
クラムを組んで頑張りま
しょう。

田村 修司



【編集委員】

- | | |
|-------|---------|
| 委員 長 | 岸 田 益 雄 |
| 副委員 長 | 岡 田 光 男 |
| 委 員 | 塩 田 智 子 |
| | 田 村 修 司 |
| | 高 木 純 |
| | 阿 佐 勝 彦 |

発行/吉野川市議会 編集/議会広報特別委員会

〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL 0883-22-2241 FAX0883-22-2242

議会だよりは再生紙を使用しています